

広報

まっだい

1987/7月

■発行 新潟県松代町役場総務課 電話 松代7-2220 番 昭和62年7月27日 第332号



《人口の動き》 男2,830(-3) 女2,871(-9) 計5,701(-12) 世帯数1,615(-7)

7月1日現在 出生4 死亡1 転入7 転出22人

農業委員会委員

新13名決まる

選挙
(無投票) 10名、推薦3名

任期満了に伴う松代町農業委員会委員一般選挙が七月七日に告示されましたが、定数の十名の立候補届出しがなく無投票当選が決まりました。

またこの他に議会推薦による二名、農協推薦による一名も決まり、新しい委員すべてが決まりました。

新しい農業委員会委員は次の方々です。ご活躍を期待いたします。なお任期は昭和六十五年七月十九日までの三年間です。

(アイウエオ順・敬称略)

●石田 幸丸

(いしだ・ゆきまる)

茅島 一一三一番地

農業 五十三歳

●桑原 貞雄

(くわばら・さだお)

桐山 丙三八一番地

農業 五十一歳

●小堺 久義

(こさかい・ひさよし)

儀明 八三三番地

農業 六十歳

●斉木 真一

(さいき・しんいち)

室野 四三〇一番地

農業 五十六歳

●高橋 喜太郎

(たかはし・きたろう)

小荒戸 九七〇番地

農業 五十八歳

●高橋 吉治

(たかはし・よしはる)

助平 一〇二二番地

農業 五十六歳

●宮沢 甲一

(みやざわ・こういち)

小屋丸 一三五九番地

農業 六十三歳

●柳 武

(やなぎ・たけし)

松代 三三四二番地

農業 五十七歳

●山岸 一正

(やまぎし・かずまさ)

本和田原 七八四番地

農業 五十三歳

●山本 慶一

(やまもと・けいいち)

犬伏 六二七番地

農業 五十二歳

《議会推薦》

●村山 寿平次

(むらやま・じゅへいじ)

室野 四四三七番地

農業 五十二歳

●山岸 重雄

(やまぎし・しげお)

蒲生 二五六七番地

農業 四十九歳

《農協推薦》

●関谷 正好

(せきや・まさよし)

松代 二〇六七番地

団体役員 六十九歳

健康は
人間が自分に
贈ることのできる
最高のプレゼント

▼突然病気になる
のではありません

自覚症状が現われてはじめて病気になるという、これまでの健康のとらえ方は、中高年層にガンや心臓病・脳卒中などの成人病が増えている現在では通用しにくくなってきました。

現代の成人病は健康と病気の境があいまいで、両者の間にはつきり一線をひくことができないからです。つまり、健康な人がある日突然に発病するのではなく、病気を起こす原因が長い間に積み重なって、それが症状となって出たのが病気ということになるのです。

▼健康診査は定期的に

今回の健康診査で問題がなかったとしても、来年は「異常なし」とは限りません。健康診査は定期的に受け、その結果を毎日の生活習慣に生かしてこそ意義があり、また、安心も得られるのです。



お知らせ

県立十日町病院、新外来棟工事が竣工して引越しのため、八月一日(土)は全科休診日となります。八月三日(月)から外来診療は、新しい外来棟にて行いますのでお知らせします。急患の方は診療いたします。

県立松代病院創立40周年

病院開設30周年

地域に根付いた

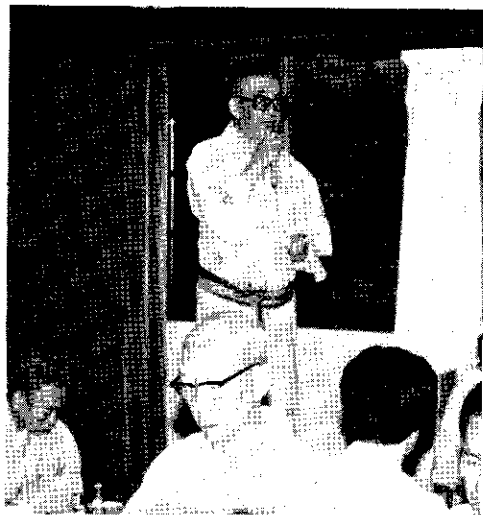
温かい医療

六月二十日(土)松之山温泉、ホテル凌雲閣で県立松代病院創立四十周年、病院開設三十周年記念式典が関係者百八名の出席のもとに開催された。

早朝からの雨は、草木を一層緑にし、山々の木々は霧に見えかくれていた。会場の玄関先では、何年ぶりの再会の挨拶がつづく。

「ふきのとう、除雪するブルドーザの音、自然にまかせる雪消えの里、土に頬ずりをしたい気持ちは今も忘れません。」

松代を懐かしむ 山口愛正氏



松代病院は官民一体となって

築かれた病院です。現在は交通の便が確保されましたが、三十年前は交通不便な山間地で、部落数の多い地域での医療に対する知識の乏しさなどから医療活動は大変なものでした。滝沢、

桐山部落に往診に出た時のことなど、三十年前の思い出を山口愛正氏は懐かしんで語られた。

死因の一位を続ける結核の治療のため、三十六年十二月結核病床十床が増設された。(五十二年六月一般病棟に転用)その後、脳卒中、がん、心臓病、いわゆる成人病が急激に増加し、成人病対策樹立が緊務の課題となりました。現在地域住民の健康保持にある時は、お父さんのように、また友達のように患者に接し、地域医療の充実に関谷院長始め四十七名の職員の方々があたられていた。

昭和二十一年八月、松代村有志の運動が実り、日本医療同松代診療所として開設された。

昭和二十四年十一月県立松代診療所となり、三十一年七月県

立松代病院に昇格。昭和五十二年九月、鉄筋コンクリート三階建、延面積二四七五㎡に改築された。

病院創立四十周年、開設三十年記念心からお祝い申し上げます。今後ますますのご活躍をお願いいたします。



久しぶりの「顔」に
話は尽きない。

犬伏保育園「もも組」入園式

七月二日(木)犬伏保育園の増築工事が完了し、未満児七名が入園した。

犬伏部落のほぼ中央から、約二百米ほど入った小高い神社の境内に犬伏保育園がある。せみや鳥の声も聞こえ、木々は緑を

増して、増築された園舎を一段とひきたてていた。

元気に遊んで下さいとの先生の声もそこそこの園児たちは、木のにおいのする部屋へと入った。

国勢調査によるとこの地域は、世帯数は減少しているものの人口は増加している。

地域の方々の要望により二、五間×四間の増築となった。

若いお母さんたちが子供たちの健康管理の聞く顔、十八名の先輩園児たちの顔が印象的でした。今年十二月下旬まで開園の予定である。

拍手で迎えらる新しい仲間



松代町の 野鳥

シリーズ⑤

松永

洸

カ

ツ

コ

ウ

カ

ツ

コ

ウ

夏鳥として松代町に渡来するこの鳥を知らない人はいないでしょう。

カッコウ、カッコウ

と松代でもよく声を聞く鳥で、この鳥は鳴き声がそのまま名称になった鳥です。松代町には、五月中旬から下旬にかけ、鳴き声が聞かれます。特に低山帯の林縁や、二次林、低木の散在する所、農耕地周辺、大きな川の河川敷内の低木の敷在するところによく声が聞かれますが、このようなところは、托卵する鳥が棲んでいるからです。

この鳥を分類すると、ホトトギス目ホトトギス科カッコウと分類され、ホトトギス科には、ホトトギス、カッコウ、ジュウイチ、ツツドリ等の四種があり、松代町には、四種類全部が確認されていることになっていますが、筆者は、今だジュウイチの声を松代町では聞いていませんが、松之山町で棲息しているのが松代町では、どこかに棲んで

いることはまちがいありません。

カッコウの特徴は、なんと言っても鳴き声ですが、姿を見た時の特徴は、ツバサと尾は、灰色で、頭、胸、背は灰色、腹一面に黒いさざなみ模様があり、ロバシの先端はとがり、少し下方に曲がっています。足指は黄色で小さく、枝に止まる時は、前と後に二本づつに分かれます。目は黄色、大きさはハト位で、鳴いている時の様子は、少しツバサを下げ、尾を持ち上げてゆつくり動かしながら

カッコウ、カッコウ

と鳴き、時には、ポッピッピッピッピッピッ

と鳴いたり、争う時には

ゴア ゴア

という声を出します。カッコウは、他のホトトギス、ジュウイチ、ツツドリと同じように、自分では巣を作らずに、モズ、ホオジロ、オオヨシキリなどの巣に卵を産み、抱卵、育雛はしません。本当に産みっぱなしで後は知らん顔という習性を持っています。この習性を托卵性といい、ホオジロ、モズ、オオヨシキリのほか、アオジ、ヒバリ科、セキレイ科、アトリ科の二〇数種類の鳥に托卵することが知られ、親鳥の身体の大きさにくらべ、割合小さい卵を産みます。

伝説に

北蒲原の中条町周辺に伝わる昔、母と娘がひっそりと暮らしていたそうです。本当に可愛がって育てていた娘のタッコがある日、病で帰らぬ人となつてしまい、悲しみのあまり母親は一羽の鳥になつて、タッコ、タッコ、と鳴きつづけるようになったという。



61年度

総事業費

3

0

6

0

万円

松代町

造林組合



小さな緑

みんなで育てて

大きな緑

松代小6年 菅井登志子

第十一回昭和六十二年度松代町造林組合総会が、去る七月一日役場第一会議室で松代町長並びに上越林業事務所羽深課長を迎え開催されました。

町造林組合は森林組合に代る組織であり、現在組合員百十名で組織されています。

総会において昭和六十一年度事業実績（新植十七ha、保育百九二ha、広葉樹林整備二十四ha作業路三百七十m、総事業費三千六十万円）並びに決算が承認され、続いて六十二年度事業計画が可決されました。

計画では新植十三ha、下刈、

町民体育祭競技日程表

8月2日 於 町民グラウンド

(雨天の場合は総合体育館)

※ 時間については予定ですので早目に集合してください。

種 目	組 数	時 間
喜びも悲しみも幾年月	2	9:30～9:45
ガンバレ青春	1	9:45～9:55
ドリブル関所破り	1	9:55～10:00
綱引き競争 (予選)		10:00～10:20
一致協力リレー	1	10:20～10:35
幼児レース	1	10:35～10:45
職人スタイル競争	2	10:45～11:00
障害物リレー	2	11:00～11:20
とおちゃん・かあちゃん玉入れ競争	1	11:20～11:40
小幅ボール運びリレー	2	11:40～11:55
昼 食		11:55～13:00
アトラクション		13:00～13:20
買物ゲーム	1	13:20～13:30
小・中学生400m リレー (女子)	2	13:30～13:40
小・中学生400m リレー (男子)	2	13:40～13:50
イエス・ノーゲーム		13:50～14:10
はしご酒リレー	2	14:10～14:30
綱引き競争 (決勝)		14:30～14:50
体育祭珍道中リレー	2	14:50～15:10
地区対抗リレー (女子)	1	15:10～15:20
地区対抗リレー (男子)	1	15:20～15:30

暑さもきびしい時期ですが、スポーツで
一日いい汗を流し楽しく過しましょう！

みなさんのご協力をお願い申し上げます。

老若男女を問わず町民が一堂に会し、スポーツを通して健康、体力の維持増進と親睦をはかり、故里に愛着と生きがいをもち、「健康な明るい町づくり」をしようと、開催される町民体育祭も**8**回を数えました。

みなさんのご理解とご協力により盛大な体育祭にしましょう。

停電のお知らせ

8月12日(水)

午前9:30～正午まで

松代の一部

太平、菅刈、田沢の全部

そして、もう二度と子供を育てるのをやめようということ
で托卵性になった。
ということ。
カッコウは、一巢に一卵を托卵し、卵は灰白色、又は青味がかった灰白色地に淡褐色と紫褐色、灰褐色、黒褐色などの色かななる小斑と曲線とがある卵を生みます。
最近といっても、四年位前と思いますが、長野県の千曲川沿いでは、オオヨシキリに托卵していたカッコウが、カラスの仲間のオナガに托卵するようになったということから、研究したところ、オオヨシキリの警戒心が強く、仮親としてオオヨシキリに托卵することができなくなり、オナガに托卵するようになったとのことでした。オオヨシキリも、頭がよくなったのか、

それとも、進化の一つ(?)か
と思ひながら、テレビ報道を見た記憶がありますが、鳥の習性を知るとおもしろいものです。
仮親の巢に托卵された、カッコウの卵は、仮親の卵より早く一〇〜一二日で孵化し、雛は、すぐ巢の中の仮親が生んだ卵を背に負い巢の外に落して、巢を独占し、仮親の愛を一身に受けて育ち、二〇〜二三日で仮親より大きくなって、巣立つのです。
本県の下越地方に、カッコウのようになるな、という言葉があるそうですが、育てられた恩をわすれるなという意味で、人間にも言われることで、人から受けた恩をわすれることのないようにとのことだと思います。
方言には、タッコウドリ、サツキドリ、カッコドリなどがあり上越地方には、マメマキドリ

軟式テニスクラブ会員募集

日時 毎週火曜日

午後8時〜午後10時

場所 総合体育館

ラケットは多少用意がありますので、気軽に参加下さい。初心者には、特に歓迎いたします。

希望者は、役場事務局高橋又は、火曜日に体育館へお出下さい。

8月2日(日)

第8回

町民体育祭

です

という方言があるということ。
餌は、昆虫の幼虫が主体で、人間の嫌う毛虫類を好んで食べるといふことです。
石川啄木の句に
ふるさとの寺のほとりの
ひばの木の下にたぐひに来て
啼きし閑古鳥
という句があり、鳥木赤彦に
二つゝて 郭公どりの
啼く聞けば
術のごとし、かはるがはる
に
という句があり、カッコウの習性、生息環境を表現しているのがよくわかります。
のどかな、カッコウの鳴き声を聞き、この句の情景を思いうかべるのも趣きがあると思います。

造林事業費及び補助金(1町歩当り)

(昭和61年実績)

1. 植 林

単位: 千円

	造林者	種別	補助金			
			雑木林	草生地(多)	草生地(少)	転作水田
杉 2,500本 植付	個人	補助金	240	145	130	175
	造林組合	事業費	600	430	400	520
	委託	補助金	330	225	205	260

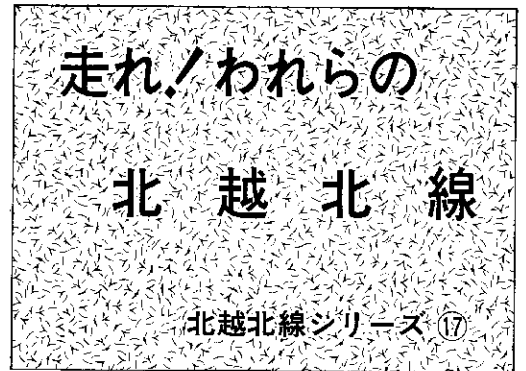
2. 保 育 (森林施業計画区域で造林組合に委託の場合)

事業種	林令	事業費	補助金
下刈	2~6年	60,000円	53,000円
枝打	11~25年	45,000~70,000円	33,000円
除間伐	11~30年	70,000~150,000円	60,000円

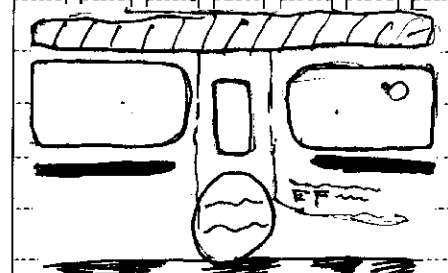
※植林、保育ともそれぞれの山林により、事業費・補助金が違いますので係にご相談願います。

除間伐等保育二百四ha、総事業費二千百万円が承認されました。
また、本年度は役員改選にあたり、次のとおり新役員が決定しました。
組合長理事 秋山 利作
副組合長理事 宮沢 庄以
理事 米持 義一
理事 宮沢 義孝
監事 武田雄一郎
監事 山賀 啓司
植林、林の手入れは、松代町
造林組合へ
組合事務局は、産業課林業係
町では、植林により広く造林の普及をはかり、あわせて治山の普及をはかり、あわせて治山

治水等自然の保全のため収益を分け合うことを目的とする部落有、個人所有の山林に団地(三十ha)の造林事業を進めております。
貴重な土地を有効に活用するためにも、あなたの、部落の荒廃を緑豊かな山にしましょう。
良質木を育成するには保育(下刈、枝打、除間伐等)が大切です。今一度林を見て手入れをしましょう。
植林、保育には、補助制度があります。団地造林、造林組合への申込等と合せて産業課林業係へご相談下さい。



ぼくは、こんなことが出来る
なり一年でも早く六十四号線で
またいいなと思います。
北越北線の建設のために、仕
事をしているみなさん、トンネ
ル工事は大変な仕事だと思いま
す。けれども、ぼくたちは、一
時でも早く開通することを持ち
望んでいます。松竹町に住んで
いるみなさんもこんな気持ちな
と思います。ですから、一年で
も早く開通するように、がんば
ってください。



国民年金

国民年金に 加入しましょう

新しい年金制度では、国民年金に加入する人の範囲が広げられ、二十歳以上六十歳未満の日本に住んでいる人全員が、加入することになっております。

ただし、学生、老齢（退職）年金受給者は除かれます。

国民年金の被保険者は、次の三種類になります。

(一) 第一号被保険者となる人

イ、農業、自営業、自由業の人
ロ、地方議会議員およびその配偶者
ハ、障害年金受給者およびその配偶者
ニ、遺族年金受給者
ホ、老齢（退職）年金受給者の配偶者

ただし、ロ・ホに該当する人でも、厚生年金、共済組合に

加入している人は、第二号被保険者となります。

(二) 第二号被保険者となる人

会社や官公庁に勤めており、厚生年金及び共済組合に加入している人

(三) 第三号被保険者となる人

厚生年金及び共済組合に加入している人に扶養されている配偶者

国民年金の加入手続きをしていない人は、役場の年金係で手続きをして下さい。(第二号被保険者は届出不要です)

国民年金の老齢基礎年金を受給するには、昭和三十六年四月

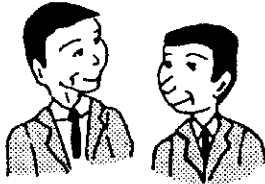
第1号被保険者

○国民年金の保険料を納める。



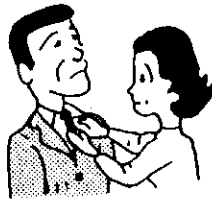
第2号被保険者

○厚生年金保険又は共済組合の保険料（掛金）を納める



第3号被保険者

○配偶者が加入している年金制度から保険料をまとめて納めるので本人は負担しないでよい。



以降二十五年以上の資格期間が必要です。

資格期間

① 厚生年金や共済組合の加入期間

② 国民年金の保険料納付済期間と免除を受けた期間

③ 合算対象期間

※合算対象期間は、昭和三十六年四月から昭和六十一年三月（二十歳以上六十歳未満）までの次の期間を言いますが、この期間は、資格期間としてみるだけで、年金額を計算する場合は除かれます。

(1) 厚生年金や共済組合に加入していた人の配偶者で、国民年金に加入しなかった期間

(2) 厚生年金や共済組合に加入した、二十歳未満と六十歳以後

の期間

(3) 学生で国民年金に加入しなかった期間

(4) 前述の第一号被保険者となる人のハ、ニ、ホに該当するため国民年金に加入しなかった期間

加入手続きが遅れますと二十五年以上の資格期間を満たせなくなる場合もありますので、加入されていない人は早めに手続きをお願いいたします。

いまあなたは 未知の世界へ

松代城跡公園

キャンプ場

タイム・スリッパ

施設の名称	単位	使用料	備考
休憩展望台	一階	4時間 700	超過使用料 1時間に つき 100円
	二階	// 1,000	
	三階	// 700	
テント	6人用	1張 1,000	
	8人用	// 1,200	
	持込料	// 300	
環境衛生協力費	1人1日	につき 100円	
スノコ	1枚	25	貸テント使用 者は無料
寝具	1枚	100	
ランブ	1個	50	
薪	炊事用	1束 200	
	ファイヤー用	1式 2,000	

(利用料金)



松代町史編纂シリーズ⑱ 町史編纂 よもやまばなし

町史編纂室 関谷哲郎

十二神社について

新潟薬科大学名誉教授

中村 辛一

●松代の十二神社

松代町では十二神社の数が十八社で松茸神社より多く、このことについて今号も連載します。

神仏習合の廃止 明治初年政府は、それまで神仏習合であつた神社から仏教色を除去するため、担当役人において民衆の指導にあたらせますが、その際、新潟県の社祠方だった小池巖藻は、蒲原、岩船方面を回り、野

湯村、馬下村(現村上市)の十二神社や十二天村(中条町)の十二天社について、これらは薬師十二神将を祀っているだろうから、本元に復して二所社と改称し、大己貴(大國主)、少彦名(少彥名)の二神を祀るのがよい、と指導しています。(明治三三年三月)「神社廻見記録」

祭神は後世神道家の作りもの

右のように十二神社の祭神は一定せず、なかには明治維新の神仏習合廃止のとき決められたのが相当あつたようです。

もともと古代人は、自然界に宿る神秘的な力を畏怖し尊崇しました。ここに八百万の神が存在したわけで、特定の人格神(人間のような意識・感情をもった神)など考えていませんでした。

大山祇神とか国常立尊とかは古事記・日本書紀に出てくる神で、これを十二神社の祭神としたのは後世の神道家などの作り出したものです。

山に宿る神

山には水の源があり、草木が繁り、鳥獣が棲み、山の幸を恵んでくれるだけでなく、山野を開拓すれば豊かな食糧が得られるし、山は林業、狩猟、農業、ときには鉱業の場所として、人間生活の生産基盤です。山から流れる水は平地地帯の農耕を可能にしてくれますから、山は平場の農民にとっても生活の根源です。

山の神は春には里に降って田

の神となり、秋収穫が終わると山に帰ると信ぜられていたのも、神の本拠は山だと思われていたためでしょう。山または山霊が神として仰がれたのも当然といえます。

十二神の名称 十二神社と昔

からいわれるこの神が、一年に十二人の子を産むからだとの俗説(岩手県で)も、山が旺盛な生産力を持っていることに由来するかも知れません。それでは十二神、十二所の「十二」は何にもとずくものでしょう。

●熊野信仰の伝播

熊野神社 大勢のみなさんが

ご存知の和歌山県熊野神社は本宮、新宮、那智の総称で、熊野三山、熊野三社または熊野三所権現といわれ、のちさらに九所の神を加えたことから十二所権現あるいは単に十二社、十二所とも呼ぶようになりました。平安時代には神仏習合が体系化され、三所権現の神仏は次頁のようになっています。

熊野信仰の広がり 熊野信仰

が盛んになるのは京都の貴族たちが多く参詣した平安後期で、その後武家の間にも及び、南北

交通警察官手記集

「おじいちゃん、ただいま」⑦

「孫の死が親子の断絶に」

今日は春日和、一人の老婆は、孫にせがまれ、いつもの時間に列車を見ようと坂道を下る。曲った腰を地に接する格好で孫の手を引く姿は子守りするというより、はしやぎ頃の二歳の孫に付き添われて歩いているようである。事故は坂を下りた警報機付きの踏切で起きた。老婆が目切警報機の音を気にもとめず踏切に入った。その直後、列車の轟音に吸いこまれ、姿は消えてしまった。老婆は驚がくのあまや、腰が抜け、あ然として動けない。その頃、私は昼食をとろうとした矢先であつた。直ちに同僚と臨場、現場は、○△踏切で、列車の通過数は多い。踏切から数十メートル先の線路上には、こどもの身体が四方に分散している。もし衣類がなければ人間とは判別ができないだろう。幼児の顔は大きな目を開き、無邪気ながらも、わびしい顔でこちらを向いて無言で何かを呼びかけようとしている。何んと無残な姿であろうか。これはまさに「地獄の縮図」であつた。一般に踏切事故は頭部等も紛砕し、男女の区別もできない程になるが、この幼児の顔面は無傷であつた。無意識に手を合わせ、「南無阿弥陀仏」とめい福を祈った。老婆は半ば狂乱に近い。こんな現場で所詮事情聴取は無理である。処理を済ませ老婆宅に赴く。そこは騒然たるシゴキの場である。父親は悲報を聞き会社から帰宅したばかりだ。台所で土下座する老婆に「何んで殺した、お前が殺した、お前も死ぬ」と何度も蹴りつける。老婆は蹴られるたびに転び、やっと起き上がり「許してくれ、勘弁してくれ」等と繰り返して、号泣している。嫁は座敷に安置されたばかりの白木のお棺にすがり、ただ子供の愛称を呼び、シクシクと泣いているだけで、夫を制止しようとはしない。結婚七年目にしてやっと授かった一人っ子の死が、今や、実母への憎しみとなつた。まさに血の通った親子とは思えない悲劇である。家族四人の平和な家庭が、事故後一カ月にして、親子は別居、老婆はアパートで独居生活を送ることとなつてしまったのである。

神社	祭神	本地仏
本官(熊野坐神社)	素戔鳴尊 (または国常立尊)	阿弥陀如来
新宮(速玉神社)	伊弉諾尊	薬師如来
那智(夫須美神社)	伊弉冉尊	観音菩薩

朝時代からは庶民にも広まりました。

普及の理由は平安中期以降浄土信仰が高まるとともに熊野を浄土とする考えが強まり、これに修験(山伏)が結びついたこと、さらに熊野の御師や先達(山伏)が各地を回って信者(檀那)を獲得したこと、また熊野比丘尼の遊藝的布教などが考えられます。その間熊野十二所権現が各地に勧請され、あるいは既存の山の神と習合して方々に十二所、十二社、十二神社が生まれたように思われます。つまり「十二」は熊野十二所権現の十二です。

十二の中味は、熊野に祀られた十二神で、一般に天神七代地神五代、つまり「国常立尊よりウガヤフキアエズ尊まで」「紀

熊野神宮の影響

松代町や周辺の十二神社の祭神が大山祇のほか国常立、伊弉諾、伊弉冉などの諸神とくに天神七代地神五代となつてゐるのは熊野の影響を思わせます。ある十二神社は薬師十二神将と関係あることは先に述べました。これも薬師如来を本地仏とする熊野新宮の影響でないかと私は思います。熊野三社のなかで最も勢力があり最も布教活動したのが新宮だったからです。

南魚の塩沢片田に熊野十二社があり、東京都新宿に十二社という所があります。室町時代熊野権現が勧請されています。

新成人に

お聞き

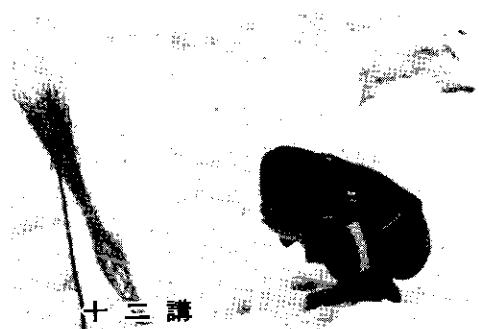
＊ しました。

成人になられて、また、都会生活等を通じて感じられたこと、抱負・感想は？(要約)

《男性》

○松代に帰った時が一番落ち着く。今の仕事を一生懸命やっていきたい。

十二神、十二所、十二社、十二神社等は熊野信仰伝播の結果名づけられたものと思われま



十三 講 室野 村山宇一郎氏提供

●まとめ

山そのものまたは山霊を神とあがめ、中世、熊野神社の影響で十二神社などと呼ばれ、とくに明治維新に祭神を決定したものが多くようです。いずれにせよ生産と直結した古い伝統を持つ庶民のお宮です。

○いつも松代に帰りたいと思つてゐる。松代は生まれ育つたふるさとだ。

○都会生活の目まぐるしさに疲れる時がある。そんな時、田舎ののんびりしたところがなつかしくなる。

○田舎の自然が最高。一生田舎で暮らせる人が一番幸せ。

○給料をもらう厳しさを知った。自分で選んだのだから頑張る。

○遠くに離れて初めて松代町が良い町に思えた。町の活性化は町全体が考えなければならぬ問題。

○松代町の自然が忘れられない。四季の移り変わりの良さを多くの人に知らせてほしい。

○二十歳の誕生日は道路工事現場で迎えた。舞台でカーテンコールの拍手をいただいた時、自分を生み育ててくれた両親に感謝し、生まれてきてよかったと思う。

《女性》

○四季がはつきりしている田舎が恋しい。どうして自分はここに(都会)に来てしまったのだろう。

○とてもすばらしい人達に出会えた。(ある会に入っている)一度都会生活に慣れると田舎には帰りにくい。

○松代で生まれ育つて良かった。松代での生活の思い出は心の安らぎになる。

○社会人となることの難しさをつくづく感じる。今まで育ててくれた両親へ感謝の気持ちを忘れずに頑張つて行きたい。

○町(松代)の人は都会と田舎ということにこだわりすぎると思う。町の良さはそこに住んでいる人達が自覚すべきです。

○埼玉にいますが、やっぱり松代はいいなと思う。何回松代に帰ろうかと思ったことか、でも帰れなかった。

○帰るとホッとするが自分のやりたい事がありません。骨休め、気晴らし、家族の顔を見に帰るだけ。

○毎日、忙しい苦しい日々の中で、田舎があることがうれしい。

○松代にいた頃より人の温かみの無さを感じる。

三回にわたり、新成人へのアンケートの回答を掲載いたしました。

過疎の悩みが全国的に見られる現代です。その中で松代に生まれ育った若者が、都会の荒波に揉まれながらも着実に成長させているようです。

成人式のスナップ写真ができました。

成人式のスナップ写真を申し込まれた方、写真ができ上がりしました。8月15日までに総合センターへおいで下さい。

料金は一枚35円です。

今日も今夜も



の用心

防災シリーズ ⑥1

花火による火災を防ごう！

夏の夜の風物詩として楽しまれている花火は我々日本人にとって、なくてはならないものの一つです。

しかし、皆さんが手軽に扱っている「おもちゃ花火」も、正しい扱い方をしないと、火災ややけどなどの事故を起こすことにもなります。

近頃の花火は高く飛ぶものや「ねずみ花火」のように地上をはい回るものも数多く販売されています。

これらの花火による火災として、高く上がった花火の火の粉が屋敷に落ちたり、地上をはい回った花火の火の粉が囲りの紙くずなどに着火したりして火災となった例が数多くみられます。花火を楽しむときは次のことに注意しましょう。

☆ 安全な場所を選ぶ

● 囲りに紙くず、枯草など燃えやすい物がなにか。

● 囲りに石油などの危険物がないか。

● 建物から離れているか。

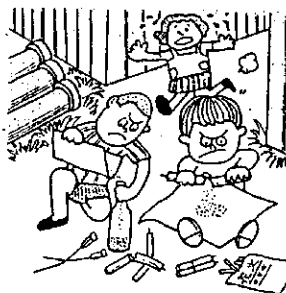
☆ 気象状況を考える（次のような気象のときは、花火を止めましょう。）

● 火災警報が出ているとき

● 強い風がふいているときや異常乾燥注意報などが出されているとき

☆ 子供だけでは遊ばせない
☆ 花火に書いてある遊び方をよく読む

☆ 花火をほぐしたりたくさん花火に一度に火をつけたりすることはやめる



☆ 水バケツ等を用意する

● 花火をする際には必ず水の入ったバケツ等を用意し、点火に使ったマッチの燃えかすや花火の燃えがらをを入れて完全消火しましょう。



★ 正しく使って
楽しい花火★



ハイ
パチリ



山野倉老人クラブの一行十名が六月十四日、松幸神社へ登りました。神様のご配慮か当日の天候は登山日和。

途中何回も休みながらもようやく頂上へ。

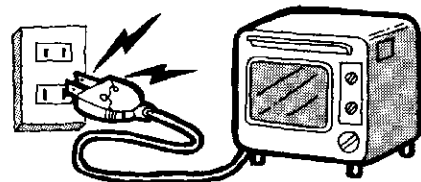
参拝者名簿に名前を書いて、御神酒をいただきゆつくり時間を過ごしました。頂上から見る景色は素晴らしいですね。

帰りの下り道は転がり落ちないよう注意をしてやっと駐車場へ。皆、うれしかったのか車の中は大賑わい。

(写真提供

室岡三蔵さん)

プラグの差し込みは
まっすぐしっかりと！



差し込みプラグをコンセントに中途半端に差し込むのは危険です。
必ずまっすぐしっかりと差し込みましょう。

松代町にUターンしてきた人が、前からこの欄に書いていたことは知っていたが、いつかは自分に回ってくるとは思っていたが、まさか、こんなに早く来るとは思わなかった。ここに載るということは、自分もUターン組ということになるが、Uターンについて書くことはそんなにない。サケが本能的に自分の生まれ育った川に戻ってくるという自然的な感覚と、自分にとって松代という所が一番住みやすく、心の安らぐ場所なのである。

からないと思うのですが。」「いいから」「松代の名平という所です。」「ほう名平ですか。私は寺田です。その時は呆気にとられてしまった。まさか名平を通して山平中学校を卒業された方に、教わるなんて思ってもみなかった。その教授に優を頂いたことは言うまでもない。」

Part 2 — ある出版社でアルバイトをしていた時、漫画家の「なくなつたって事。」「お前さんどこの出身。」「新潟の松代町。」「私、浦田で松高出身よ。」「ときた。またまたあ然としてしまった。そして毎晩のように、そこに飲みに行ったことも言うまでもない。」

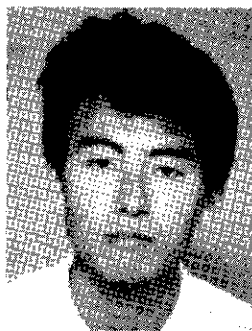
Part 4 — 同じ阿佐ヶ谷の中華料理店で、松代の人が聞いた誰でもわかる言葉で、奥さんが話している。自分「もしかして、東京という大海原で、こんなに偶然にも出会うことができた。まったく不思議で恵まれていたと思う。つくづく世間とは広いようで狭いものと感じた。自分にとって松代も故郷、東京も第二の故郷と感じられるのである。」

最後にもう一人、その人は同じ職場の学生アルバイトの先輩で、大学では東洋哲学を学ばれていて、自分が少しでもその人に近付けたならと思う人で、次郎物語の自分が次郎であったなら、その父親が朝倉先生のような人で抱擁力があり暖か味があり庶民的な、かつその上に立ち指導力を発揮できるといった人で、とてもすばらしい人でした。

「東京での出会い」

名平

菅井太一



さて話は変わるが、東京での四年間は自分にとって本当に有意義であつたし、いろいろな体験を与えてくれた。昼は会社員として、夜は様々な年齢層の集う夜間大学の学生として、地元(杉並区阿佐ヶ谷)に帰れば、その人々との交流と、日本じゅうから集まった多種多様な人たちと出会うことができた。とりわけその中で印象に残った人を、紹介してみたいと思う。

Part 1 — 大学の教授。最初の授業で「新潟県出身の人、手を上げてみなさい。」「(自分上げる)」「新潟のどこ?」「十日町の近くの……あの……東頸城の松代という所です。」「松代町のどこ?」「あのそれ以上言ってもわ

所に原稿を取りに行った。後で編集部の人に聞いた所によるとその人が松代出身で、姓が自分と同じ菅井であつた。仕事が楽しくなり、その方の漫画を全て読んだ事は、いうまでもない。Part 3 — 地元、阿佐ヶ谷のカラオケスナックに友達と飲みに行った時、いい気分になつて「酒も絶えたい帰ろ。」と言つたところ、そのママさん「絶えたいって何?」(自分は標準語と

た。そこにも毎晩のように学校の帰り道、飯と松代弁を聞きに行つたことも……。そのみそラーメンとギョーザは格別で忘れることができない。以上、松代出身の方々である



戸籍の窓口

六月受付分

幸せ多い人生を(結婚)

鈴木昌宏・鈴木久美子

(松代・松代印刷所)

げんきなよい子に(出生)

五十嵐里花 父 保 母 郁子

(長女 松代 原田屋)

若井 光男 父 好平 母 愛子

(二男 松代 常七)

鈴木 康彦 父 清彦 母 央子

(長男 松代 清屋)

山本 睦美 父 武 母 千代子

(長女 犬伏 佐四)

ご冥福を祈ります(死亡)

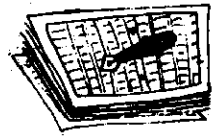
齋木芳太郎 74歳 松代 善八

今月の表紙

松代小学校裏が毎日子供たちの声で賑やかです。校区内の父兄の手で素晴らしいフィールドアスレチック場ができ上がりしました。元気一杯遊ぶ子供の声はやっぱりイイデスネ!



文芸



松之山俳句大会

六月十四日 於 室野全旅館

兼題 更衣・菖蒲

水ゆたか菖蒲ゆたかに大藁屋
菖蒲湯のもてなし嬉し妻の里

昌弘

手入れよき山の水口に花菖蒲
花菖蒲水鏡して競い咲く

去水

年古りし母の形見や更衣
谷よりの落とし水あり花菖蒲

六花

更衣風通しよきバスにあり
咲き初めしかきつばた先ず仏壇

枯水

花菖蒲此処は雪解け早きとこ
子の手足伸びて嬉しや更衣

紅茶

城山より見おろし眺む菖蒲園
池の端水にうつりてあやめ花

美根

石坂の地蔵頭巾も更衣
菖蒲園草とる人も小さく見ゆ

喜沙

惚ばる、屋敷跡なり花菖蒲
華やかに事務の娘の更衣

立石

一叢のあやめ育てる田尻かな
花近し草引き水引き菖蒲園

淡水

日帰りの湯治仲間や更衣
楽しみは十二種類の花菖蒲

一元

花菖蒲九谷の壺に落ち着けり
更衣亡母の形見の似合う年齢

公明

鯉はねる城山の池花菖蒲
衣がえ世のならわしと心得て

瀬舟

無器用に活けし菖蒲の品のよき
米山もみどり色増しころもがえ

世香

更衣さやけくもあり今朝の空
菖蒲湯にひたる老父の笑顔かな

千登世

連れだちて行く若者等更衣
白菖蒲真白き蝶の舞い遊ぶ

八千代

あやめ咲く農捨て去りし住居址
世渡りを拙く生きて更衣

耕山

疱疹の痕のぞかせて更衣
湧き水に湯呑もありてあやめ咲く

鐵堂

この腕の白き少女の更衣
更衣して出休みの妻の唄

爽風

衣更えて旅路の膝の薄さかな
衣更して気にかかる帯の位置

ふさ女

更衣孫も近々来ると言う
雑草に迷いなくして仲ぶあやめ

月日

朝刊を鳥肌で読む更衣
防虫の匂いをかいで更衣

折人

衣更えて世を拗ねてきし大胡座
寡婦ひとり黄あやめ残し村を去る

龍峰

短歌 山の春

草野和作

浜海川岸の柳も芽ぶき初めつく
しの頭を見す道はためしき

過疎地なれど春はよくれたんぼ
ばの花きらめける朝の勤め路

北国の冬長ければ春待ちて撫の
林の山菜を取る

雨晴れて撫の緑のみずみずし沢
のぜんまいわれを呼ぶごと

ぜんまいを取りおえ沢の水を飲
むけもののごとくわが腹ばいて

小枝より小枝につかまりぜんま
いを取りゆく吾はも猿のように

園芸一口メモ

松代園芸愛好会

野に咲く花

ノアザミ

アザミの仲間には種類が多いのですが、その仲間ではいちばん早く、晩春に花が咲く多年草です。花のつけ根のふくらみの部分や、つぼみにさわれるとべたべたして、粘着性があるのが大きな特徴です。葉はぎざぎざして鋭くとがり、へりにはたくさん鋭い歯があり、茎は直立して、そ

の枝の頂上に直径三センチぐらいの紅葉色の花をつけます。
おいしい食べ方
天ぷら、ごまあえ、クルミあえ、からしあえ、油いため、きんぴら等です。葉としての使い方は、充実した秋の根を採取し天日で充分乾燥して使います。婦人病・鼻血、痔出血等に効があります。
アザミとは「浅む」（驚き呆れる）からの変化で、「葉にとげがあつて驚き呆れるほど痛い」の意味です。山歩きでのどがかわいたとき、皮をむいて、そのままかじると水気があつておいしいものです。



きく科

草丈 10cm~1m
花期 春~夏(4月~6月)